

ハーモニアス別府

# 第25回 ニューイヤーコンサート ザ・ファイナル

•出演者

松本和将 PIANO

三浦一馬 BANDONEON

川久保賜紀 VIOLIN

上里はな子 VIOLIN

KAZUMASA MATSUMOTO

華やかなる、響演の集大成

KAZUMA MIURA

©井村重人

2019 New Year Concert

2019. **2/10** (日)

開場 12:30 開演 13:00

ビーコンプラザ 国際会議室

入場料: 一般2,500円、会員2,000円  
学生1,000円

•演奏曲

ヘンデル/サラバンド

クライスラー/プレリュードとアレグロ

ピアソラ/アディオス・ノニーノ

ほか

TAMAKI KAWAKUBO

•チケットのお求めは

トキハ会館・トキハ別府店プレイガイド・ビーコンプラザ事務局

•チケットのご予約、お問い合わせは

メール: [harmo.beppu@gmail.com](mailto:harmo.beppu@gmail.com) 電話: 090-7453-3966(多田)

主催: ハーモニアス別府 ビーコンプラザ

共催: 大分みらい信用金庫

特別協力: 株式会社 河合楽器製作所 九州支店

後援: ANA、別府市教育委員会、大分合同新聞社、OBS大分放送

CTBメディア

大分県次世代の星 清原百合乃 (きよはら ゆりの)

3歳よりヴァイオリンを習う。中学1年生で第71回全日本学生音楽コンクール北九州大会中学の部1位。第56回北九州芸術祭クラシックコンクールジュニアの部で金賞ならびに市長賞。第63回西日本国際音楽コンクールジュニア部門第1位福岡県知事賞。森崎文子・川瀬麻由美各氏に師事。iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ所属(コンサートミストレス)。日出町立日出中学校在学。





松本和将 ピアノ  
Kazumasa Matsumoto

幼い頃よりピアノに目覚め、高校在学中に「ホロヴィッツ国際ピアノコンクール」第3位など、国内外のコンクールで上位入賞。1998年19歳で「第67回日本音楽コンクール」優勝。併せて増沢賞をはじめ、全賞を受賞。2001年プゾーニ国際ピアノコンクール第4位、2003年エリザベト王妃国際音楽コンクール第5位入賞。これまでにブラハ交響楽団、ブラハフィル、ベルギー国立オーケストラ、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京フィルなど、多くのオーケストラと共演。2009年から3年連続のオールショパンプログラム全国ツアーを行い、2016年より「松本和将の世界音楽遺産」と名付けたリサイタルシリーズを開始。

室内楽にも積極的に取り組み、イザベル・ファウスト、前橋洋子、宮本文昭など多くの名演奏家と共演。2010年より上里はな子、向井航とピアノトリオを結成し、2012年には東京、京都、広島を始めとする6都市で全国ツアーを行い、2016年には京都フィルとベートーヴェンの三重協奏曲を共演。

これまでに2枚のレコード芸術特選盤（「展覧会の絵」「後期ロマン派名曲集」）を含む18枚のCDをリリース。

東京芸術大学非常勤講師（2008～2012）、くらしき作陽大学特任准教授、名古屋音大ピアノ演奏家コース特任准教授として、後進の指導にもあたっている。

- 公式HP  
<http://www.kaz-matsumoto.com>
- 公式ブログ  
<http://www.kaz-matsumoto.cocolog-nifty.com>



三浦一馬 バンドネオン  
Kazuma Miura

1990年生まれ。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、自作CDの売上でアルゼンチンに渡航。現在に至るまで師事。

07年、井上道義・神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演でマルコーニのバンドネオン協奏曲《Tangos Concert antes》を日本初演。このオーケストラ・デビュー以降、国内の主要オーケストラと共演を重ねている。

08年10月、イタリアで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。11年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、アルゲリッチやパシュメットら世界的名手と共演、大きな話題と絶賛を呼んだ。12年にはマルコーニと東京・兵庫・名古屋で共演を果たし、白熱した演奏で聴衆を沸かせた。15年出光音楽賞（14年衆）を受賞。16年にはデビュー10周年を迎え、7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でパカロフ作曲「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。

17年、自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を結成、同年11月には埼玉県「久喜市くき親善大使」に就任。

2018年10月24日キングレコードより、全編ピアソラ作品によるキーンテート（五重奏）編成の最新盤「Libertango」をリリース。同年12月1日から公開のドキュメンタリー映画「ピアソラ 永遠のリベルタンゴ」の広報大使を務める。

現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。使用楽器は、マルコーニより譲り受けた銘器、1938年製「Alfred Arnold」。



川久保陽紀 ヴァイオリン  
Tamaki Kawakubo

2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝。2002年チャイコフスキー国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位受賞以来、クラシックから現代まで、幅広いレパートリーを手がけ、国内外でリーディングソリストとして活躍を続けている。若くして、ロサンジェルス・フィル、デトロイト響、ヒューストン響、シンシナティ響、ポルティモア響、サンフランシスコ響、クリーヴランド管など主要な北米オーケストラと共演し、豊富なステージ経験を積む。日本では1997年、チョン・ミョンファン指揮アジア・フィルのソリストとしてデビュー。同年、ニューヨークのモーストリー・モーツァルト・フェスティバル・オーケストラの日本ツアーに迎えられ、その飛躍的な成長と演奏活動に対して、リンカーンセンターより、エヴリー・フィッシャー賞を受賞。以後、日本主要オーケストラと共演を重ねる他、インバル指揮ベルリン響、K.ヤルヴィ指揮ウィーン・トーンクンストラ管、フェドセーエフ指揮モスクワ放響、プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管などと共演し、高度な技術と作品の品位を尊ぶ深い音楽性に高い評価を得ている。近年は、小菅優とのデュオでドイツツアーを行い、またフシントンなどで自ら企画するコンサートを行うなど、コンサート・プロデューサーとしての才能も発揮、リサイタルだけではなく室内楽にも積極的に取り組み、究極のアンサンブルを追求し続けている。2018-19シーズンは、欧米での活動と平行し、国内ではP.インキネン指揮 日本フィルハーモニー交響楽団、下野竜也指揮 広島交響楽団、小泉和裕指揮 東京都交響楽団など、国内主要オーケストラとの共演の他、小菅優とのブームス・ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を中心にソロ&室内楽プロジェクトを幅広く展開する。後進の指導にも積極的に取り組み、2018年より桐朋学園大学院（富山校）大学教授に就任。5歳の時にヴァイオリンを始め、R.リップセット、D.ディレイ、川崎雅夫、Z.ブロンズの各氏に師事。



上里はな子 ヴァイオリン  
Hanako Uesato

2歳よりヴァイオリンを始め、史上二人目となる全日本学生音楽コンクール小学生の部・中学生の部全国第1位を成し遂げる。1994年第63回日本音楽コンクール入選。1997年バガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第5位。2001年ヤッシャ・ハイフェッツ国際ヴァイオリンコンクール第2位。現在までの日本人唯一の入賞者である。

桐朋女子高校音楽科に首席で入学、1995年ウィーン国立音楽大学に入学。安田生命クオリティ・オブ・ライフ文化財団から助成を受ける。ウィーン国立音楽大学のソリストオーディションで優秀賞を獲得し、リサイタルを行う。また、ムジーク・フェラインでの大学オケの演奏会にも度々出演。

8年間ウィーン国立音楽大学で学び、2001年に帰国。帰国後はリサイタルや室内楽等で全国を飛び回るかたわら、後進の指導にも力を入れている。各地のマスタークラスに講師として招かれ、また2013年、カンマムジークアカデミーin呉を松本和将らと共に立ち上げる。松本和将（ピアノ）、向井航（チェロ）とピアノトリオを結成し、2012年には東京、京都、広島などで全国ツアー、2016年には齊藤一郎指揮京都フィルとベートーヴェンの三重協奏曲を共演。また近年は、漆原啓子（ヴァイオリン）らとのカルテットでも活動している。

多くのアーティストのライブにツアーメンバーとして参加し、幅広いジャンルでのレコーディングにも参加、テレビ番組にも数多く出演。小林武史、小林健次、徳永二男、シモン・ゴールドベルク、ザハール・ブロン、ルッジェーロ・リッチ、ゲルハルト・シュルツの各氏に師事。豊橋市文化振興特別賞受賞。

これまでに、ソロでは「Tiare」・「Scherzando」・「アニカル・ジブリ集」・「GIFT」の4枚のCD、トリオでは「チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲「偉大なる芸術家の思い出に」」、2014年6月には松本和将とのデュオアルバム「フランク・グリーク：ヴァイオリンソナタ」をCD、SACD、アナログレコードで同時リリース、大きな話題となる。

完璧な技術に裏打ちされたその深く美しい音色は、聴衆を魅了し続け、共演者からも高い信頼を得ている。



### チケットの予約について

- ※予約チケットは当日会場受付にご用意いたします。
- ※メール予約、電話予約ともに以下をお知らせください。
  - ・お名前（ハーモニクス別府会員の方はその旨を）
  - ・チケット枚数 ・ご連絡先
- ※メール：[harmo.beppu@gmail.com](mailto:harmo.beppu@gmail.com)
- 電話：090-7453-3966（多田）